

# ぶらり

なんたん 13

## ～府民の森ひよし～

森で遊ぶ、森で学ぶ、森を楽しむ！

日吉ダム湖畔沿いの道を進み、丸太作りのゲートを通って坂を上ると、森と空を背景に一面の芝生が広がります。

「府民の森ひよし」の広大な敷地内には、「観察の森」「体験の森」「散策の森」があり、野鳥のさえずりの中で季節の花や樹木観察、森林浴などが散歩をしながら楽しめます。



▲展示パネルやジオラマで森の働きがわかる「森の資料館」

「森の資料館」では、森の働きや面白さを知ることができ、「木工研修館」では、指導員の指導のもとで木工体験ができます（要予約）。「森の広き民家二棟を移築復元してあり、懐かしいおくどさんや「いりり」から昔の生活を見ることが出来ます。天若遺跡の出土品などの常設展示もあるほか、現在は春季ミニ収蔵品展「教室は思い出の宝箱」として、明治から昭和の学校の資料展示が五月二十七日まで開催されています。（要入館料）



▲「郷土資料館」の移築民家

「場」には、キッチン付きのキャビンやキャンプ場があり、家族や気の合う仲間でのバーベキューも楽しめます。また、レンタサイクルもあり、爽やかな風を全身で感じながら森や日吉ダム周辺のサイクリングも人気があります。

日吉の歴史や生活・文化が再発見できる「郷土資料館」では、日吉ダム建設により水没した天若地区のかやぶき民家二棟を移築

### ぶらり案内



事務 倉島 悦美 さん

森の資料館の床には、動物の足跡が…。跡をたどると何の動物が分かる、森を楽しく知る工夫が溢れています。府民の森ひよしは、昨年4月から日吉ふるさと株式会社（郷土資料館は市教育委員会）で管理運営をされており、全国各地から年間4万人を超える利用者があります。今年のゴールデンウィークもすでに予約がいっぱいで、新緑の森を楽しむ人々にぎわう予感。「お客さんに『また来るね』と声をかけていただくことが何よりうれしいです」と、事務の倉島悦美さん。冬の早朝には、鹿の群れが広場で朝の食事をする風景が見られるそうです。



▲施設全景

### 府民の森ひよし

【森の資料館・木工研修館・キャビン・キャンプ場】

TEL (0771) 72-1339 水曜定休

【郷土資料館・サイクリングターミナル】

TEL (0771) 72-1130

3～11月は火・水曜（夏休み中は水曜のみ）定休

◆住所：南丹市日吉町天若

◆交通：府道19号を日吉ダム方面へ。

※詳しいことはお問い合わせください。